

④ 鉄筋工事業

◆ 作成ガイドライン

- (1) 鉄筋工事業の施工技能においては、加工場での鉄筋加工業務と現場での鉄筋組立業務があり、それぞれの業務が部署によって分かれている事業所と1つの部署で両業務をおこなう事業所がある。そのため、施工技能においては、鉄筋加工と鉄筋組立についてモデルカリキュラムを作成していること。
- (2) 鉄筋工事業においては、カンやコツが重要であるが、工程管理等の業務においては論理的な考え方や仕事の進め方などが重要であることから、特に施工管理に関するコースを作成していること。

鉄筋工事実践科（鉄筋加工作業コース）訓練カリキュラム総括表

平成21年1月作成

訓練科名 (コース名)	鉄筋工事実践科 (鉄筋加工作業コース)	就職 の 職務	鉄筋加工作業
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、鉄筋加工について、職場のルールとともに作業打合せ及び職長（現場管理職）等の指示を理解し、場内・場外の加工場での基本的な加工作業等を安全に行うことができる知識と技能を習得する。		
仕上がり像	鉄筋工事の作業段取りを理解し、材料加工の補助を安全に行うことができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

鉄筋工事実践科（鉄筋加工作業コース）訓練カリキュラム

平成21年1月作成

訓練科名（コース名）		鉄筋工事実践科（鉄筋加工作業コース）			Off-JTの実施主体	備考	
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間				
有期実習型訓練の内容	実習等 (OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	実習に 包含	/		
		作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓	160			
		鉄筋加工作業	段取り作業、加工態度、鉄筋加工	180			
		OJT計					340時間
	座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとルール、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念	12	/	
			安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、KY活動、リスクアセスメント	6		
			鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識	用語、材料・器具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、切断作業・曲げ加工作業の要領、加工帳（絵符）、鉄筋組立作業の手順	6		
			能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）	10		
	学科計			34時間			
	実技	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、KY活動、健康管理、健康診断、安全に留意した作業機械の操作方法	7	(指定講習機関)	受講させる 技能講習お よび特別教 育により時 間の変更が 必要です
作業管理基本実習			鉄筋材料の種類と識別、分別保管の方法、運搬、整理整頓	6			
鉄筋加工基本実習			切断作業・曲げ加工作業の方法、整理整頓	8			
安全衛生基礎実習			労働安全衛生法に基づく技能講習（玉掛け等）、労働安全衛生法に基づく特別教育（クレーン、高所作業車運転、アーク溶接等）	30			
実技計			51時間				
Off-JT（教育訓練機関）小計				85時間	/		
有期実習型訓練合計				425時間			
主な設備機器		鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、揚重機、鉄筋工事用工具類、計測器類					

鉄筋工事実践科（鉄筋加工作業コース）訓練計画予定表

平成21年1月作成

訓練科名（コース名）		鉄筋工事実践科（鉄筋加工作業コース）					
	職務名又は教科名	H○年					
		○月	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)	安全衛生作業						
	作業管理実習						
	鉄筋加工作業						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習					
		安全衛生					
		鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識					
		能力評価					
実技	安全衛生作業						
	作業管理基本実習						
	鉄筋加工基本実習						
	安全衛生基礎実習						
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

鉄筋工事实践科（鉄筋工事施工管理コース）訓練カリキュラム総括表

平成21年1月作成

訓練科名 (コース名)	鉄筋工事实践科 (鉄筋工事施工管理コース)	就職 の 職務	鉄筋施工計画及び施工管理
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、鉄筋工事に関わる施工管理や計画における各種業務の準備作業を通じて、鉄筋工事全般についての計画・管理に関する基本的な知識や行動規範を習得する。		
仕上がり像	職長や先輩等の指示に基づいて各種資料準備を行うことができ、施工管理の基本的内容を理解し、率先して行動する姿勢を体得することができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

鉄筋工事実践科（鉄筋工事施工管理コース）訓練カリキュラム

平成21年1月作成

訓練科名（コース名）		鉄筋工事実践科（鉄筋工事施工管理コース）			Off-JTの実施主体	備考	
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間				
有期実習型訓練の内容 座学等（Off-JT） 実技	実習等（OJT）	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持、安全作業の点検	実習に包含	/		
		施工管理実習	見積作成、実行予算作成、自主検査	160			
		鉄筋施工計画作成作業	鉄筋施工計画書類作成、打ち合わせ	80			
		自主管理作業	現場巡回、現場作業の確認、連絡・報告・相談の実践、鉄筋材料の検収・搬入・保管	100			
	OJT計				340時間		
		学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとルール、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念	15	/	
			安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、KY活動、リスクアセスメント	9		
			施工管理の基本知識	安全管理、品質管理、原価管理、関連法令の知識	6		
			鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識	用語、材料・器工具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、切断作業・曲げ加工作業の要領、加工帳（絵符）、鉄筋組立作業の手順	3		
			鉄筋施工計画の基本知識	受注から引渡しまでの流れ、歩掛り、安全書類及び必要書類	3		
		自主管理の基本知識	設計図書とその見方、仕様書、工程表、作業標準、作業安全指示書、品質管理基準、鉄筋材の検収の流れ	6			
		能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）	10			
学科計				52時間			
		安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、健康管理、健康診断、安全防具の正しい着用方法、KY活動	6	/		
		施工管理実習	必要書類の手配と作成方法、見積作成、実行予算作成、歩掛りの考え方、自主検査について	15			
		自主管理実習	安全作業点検方法、現場作業の確認要領、現場作業の進捗確認要領、自主検査の要領	12			
実技計				33時間			
Off-JT（教育訓練機関）小計				85時間			
有期実習型訓練合計				425時間			
主な設備機器		製図器、製図用具類、パソコン、営業ツール					

鉄筋工事实践科（鉄筋工事施工管理コース）訓練計画予定表

平成21年1月作成

訓練科名（コース名）		鉄筋工事实践科（鉄筋工事施工管理コース）					
	職務名又は教科名	H○年					
		○月	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)	安全衛生作業						
	施工管理実習						
	鉄筋施工計画作成作業						
	自主管理作業						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習					
		安全衛生					
		施工管理の基本知識					
		鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識					
		鉄筋施工計画の基本知識					
		自主管理の基本知識					
	能力評価						
実技	安全衛生作業						
	施工管理実習						
	自主管理実習						
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

鉄筋工事実践科（鉄筋組立作業コース）訓練カリキュラム総括表

平成21年1月作成

訓練科名 (コース名)	鉄筋工事実践科 (鉄筋組立作業コース)	就 職 の 職 務	鉄筋組立作業
訓練期間	6ヶ月		
訓練目標	職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、鉄筋組立について、現場のルールとともに作業打合せ及び職長（現場管理職）等の指示を理解し、作業工程における建設現場の作業手順に従い施工作业を安全に行うことができる知識と技能を習得する。		
仕上がり像	鉄筋材料の施工段取り及び組立作業を安全に行うことができる。		

実施月	OJT・Off-JT区分	時間	備考
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
月	OJT		
	Off-JT		
	月計	日	
時間算定の基礎：1日 時間 日			
総訓練時間：425時間（OJT：340時間 Off-JT：85時間）			

鉄筋工事実践科（鉄筋組立作業コース）訓練カリキュラム

平成21年1月作成

訓練科名（コース名）		鉄筋工事実践科（鉄筋組立作業コース）			Off-JTの実施主体	備考
職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間			
有期実習型訓練の内容	実習等 (OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	実習に包含	/	
		作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓	160		
		鉄筋組立作業	組立段取り作業、施工態度、鉄筋組立	180		
		OJT計				
	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとルール、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念	12	/	
		安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、KY活動、リスクアセスメント	6		
		鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識	用語、材料・器具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、切断作業・曲げ加工作業の要領、加工帳（絵符）、鉄筋組立作業の手順	6		
		能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）	10		
		学科計				
	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、KY活動、健康管理、健康診断、安全防具の正しい着用方法	7	(指定講習機関)	受講させる技能講習および特別教育により時間の変更が必要
		作業管理基本実習	鉄筋材料の種類と識別、運搬、整理整頓	4		
		鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓	10		
		安全衛生基礎実習	労働安全衛生法に基づく技能講習（玉掛け等）、労働安全衛生法に基づく特別教育（クレーン、高所作業車運転、アーク溶接等）	30		
		実技計				
	Off-JT（教育訓練機関）小計				85時間	/
有期実習型訓練合計				425時間		
主な設備機器		鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、揚重機、ガス圧接機、両頭グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工事用工具類、溶接用工具類、計測器類				

鉄筋工事实践科（鉄筋組立作業コース）訓練計画予定表

平成21年1月作成

訓練科名（コース名）		鉄筋工事实践科（鉄筋組立作業コース）					
	職務名又は教科名	H○年					
		○月	○月	○月	○月	○月	○月
実習等 (OJT)	安全衛生作業						
	作業管理実習						
	鉄筋組立作業						
座学等 (Off-JT)	学科	職業能力基礎講習					
		安全衛生					
		鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識					
		能力評価					
実技	安全衛生作業						
	作業管理基本実習						
	鉄筋組立基本実習						
	安全衛生基礎実習						
	職業能力の評価						
	教育訓練の時間数						

モデルカリキュラム活用事例

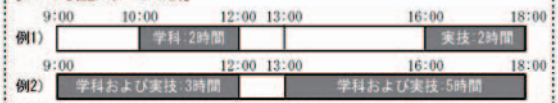
●モデルカリキュラム 6カ月訓練・425時間

【活用事例1】経験の無い方に基本知識と運動習慣、基本技能を身につけさせる訓練をおこなう場合

訓練科名(コース名)	鉄筋工事実践科(鉄筋組立作業コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	160	OJT計 340時間	実習日数
	作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓	160		
	鉄筋組立作業	組立段取り作業、施工順序、鉄筋組立	160		
有期実習型訓練の内容	職業能力基礎講習	コミュニケーション(報告・連絡・相談の基本)、仕事態度と職場の概要、社会人としてのマナー、倫理規定、就業規則、就業理念	12	OJT計 400時間	実習日数
		安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理、KY活動、リスクアセスメント		
	鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識	用語、材料・部品の名称と用途、必要部材、作業の流れ、工程表、切配作業、曲げ加工作業の準備、加工機(給棒)、鉄筋組立作業の手順	6		
	能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)	10		
	安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、高圧法、KY活動、健康管理、健康診断、安全器具の正しい使用方法	7		
実技	作業管理基本実習	鉄筋材料の種類と識別、運搬、整理整頓	4	OJT計 100時間	実習日数
	鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓	10		
	安全衛生基礎実習	労働安全衛生法に基づく技術講習(業務等)、労働安全衛生法に基づく特別教育(クレーン、高所作業車運転、アーク溶接等)	30		
		実技計 51時間			
		Off-JT(教育訓練機関)小計 85時間			
		有期実習型訓練合計 425時間			
主な設備機器		鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、撻重機、ガス圧接機、両端グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工事用工具類、溶接用工具類、計測器類			

訓練科名(コース名)	鉄筋工事実践科(鉄筋組立作業コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	160	OJT計 400時間	実習日数
	作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓、 作業準備	160		
	鉄筋組立作業	組立段取り作業、鉄筋組立、 切配、整頓	180		
有期実習型訓練の内容	職業能力基礎講習	コミュニケーション(報告・連絡・相談の基本)、仕事態度と職場の概要、社会人としてのマナー、倫理規定、就業規則、就業理念、 安全衛生	12	OJT計 400時間	実習日数
		安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理		
	鉄筋加工および鉄筋組立の基本知識	用語、材料・部品の名称と用途、必要部材、作業の流れ、工程表、切配作業、曲げ加工作業の準備、加工機(給棒)、鉄筋組立作業の手順	6		
	能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)	10		
	安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、高圧法、KY活動、健康管理、健康診断、安全器具の正しい使用方法	7		
実技	作業管理基本実習	鉄筋材料の種類と識別、運搬、整理整頓	4	OJT計 100時間	実習日数
	鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓	10		
	安全衛生基礎実習	労働安全衛生法に基づく技術講習(業務等)、労働安全衛生法に基づく特別教育(クレーン、高所作業車運転、アーク溶接等)	30		
		実技計 60時間			
		Off-JT(教育訓練機関)小計 100時間			
		有期実習型訓練合計 500時間			
主な設備機器		鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、撻重機、ガス圧接機、両端グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工事用工具類、溶接用工具類、計測器類			

【Off-JT実施パターンの例】



訓練期間を3ヶ月で計画した場合

【活用事例2】経験や知識を有する方に知識や運動、技能を確認し、現場復帰させるための訓練をおこなう場合

訓練科名(コース名)	鉄筋工事実践科(鉄筋組立作業コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	144	OJT計 172時間	実習日数
	作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓	52		
	鉄筋組立作業	組立段取り作業、施工順序、鉄筋組立	120		
有期実習型訓練の内容	職業能力基礎講習	コミュニケーション(報告・連絡・相談の基本)、仕事態度と職場の概要、社会人としてのマナー、倫理規定、就業規則、就業理念、鉄筋組立作業の基本知識	12	OJT計 25時間	実習日数
		安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理		
	能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)	10		
	安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、高圧法、KY活動、健康管理(健康診断の受診)、緊急処理、安全器具の正しい使用方法	6		
	作業管理基本実習	鉄筋材料の識別と分別保管の方法、運搬、整理整頓	6		
実技	鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓	6	OJT計 43時間	実習日数
	鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓	6		
		実技計 18時間			
		Off-JT(教育訓練機関)小計 43時間			
		有期実習型訓練合計 215時間			
主な設備機器		工事用リフト、コンクリートミキサ、ランマ、バイブレータ、鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、ガス圧接機、撻重機用電気丸のこ、撻重機用電気丸のこ、電気ドリル、電気ハンマ、両端グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工事用工具類、溶接用工具類、計測器類			

※助成金受給の条件
 ・6カ月訓練の総時間数425時間以上(3ヶ月訓練では215時間以上)
 ・OJT訓練時間は、総訓練時間の8割〜2割の範囲

6ヶ月の訓練期間で就業時間を全て訓練時間として計画した場合

【活用事例3】学卒者に対して、仕事の知識と運動習慣および技能を十分に習得させる訓練をおこなう場合

訓練科名(コース名)	鉄筋工事実践科(鉄筋組立作業コース)	職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考
実習等(OJT)	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持	144	OJT計 768時間	実習日数
	鉄筋組立準備作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、道具や材料の準備、器具・工具類の検査確認と準備	144		
	鉄筋材料分別保管作業(作業段取り)	現場のマナー、器具・工具類の片付け、整理整頓および保管、鉄筋工事材料の分別保管作業準備、鉄筋材料の運搬	152		
有期実習型訓練の内容	職業能力基礎講習	コミュニケーション(報告・連絡・相談の基本)、仕事態度と職場の概要、社会人としてのマナー、倫理規定、就業規則、就業理念	24	OJT計 104時間	実習日数
		安全衛生	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理		
	作業段取り概論(組立基礎知識)	鉄筋組立作業にかかわる用語、材料・器具・工具・機械等の名称と用途、荷役作業の手順、場内運搬作業の手順、配筋図の見方	30		
	施工概論	現場移動の誘導、新入職者教育および退出し教育の誘導、作業の誘導と安全の誘導、給棒の給棒、給棒・給棒・運搬の要領	16		
	鉄筋加工作業概論	作業段取りの工夫と作業効率の重要性、法令および諸規定の概要	16		
実技	能力評価	オリエンテーション、能力評価(評価担当者、受講者)	10	OJT計 960時間	実習日数
	安全衛生作業	安全作業、衛生管理業務、高圧法、KY活動、健康管理(健康診断の受診)、緊急処理、安全器具の正しい使用方法	8		
	鉄筋組立準備作業	作業進捗目標の設定要領の確認、道具や材料の準備要領の確認、器具・工具類の検査確認と準備の要領の確認	40		
鉄筋組立作業	鉄筋組立準備作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け、整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬要領、あいつばり作業	160	OJT計 192時間	実習日数
	鉄筋組立作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け、整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋組立手順の確認	160		
		実技計 88時間			
		Off-JT(教育訓練機関)小計 192時間			
		有期実習型訓練合計 960時間			
主な設備機器		工事用リフト、コンクリートミキサ、ランマ、バイブレータ、鉄筋切断機、鉄筋曲げ機、ガス圧接機、撻重機用電気丸のこ、撻重機用電気丸のこ、電気ドリル、電気ハンマ、両端グラインダ、アーク溶接機、鉄筋工事用工具類、溶接用工具類、計測器類			

※960時間(OJT:768時間、Off-JT:192時間) 8時間/日 → 約120日

鉄筋工事業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
0JT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、施設管理、環境対策
0JT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持
0JT	実技	安全衛生作業	安全確保、衛生管理、作業環境の清潔保持、安全作業の点検
0JT	実技	運搬作業	鉄筋工事業界のルール、現場のルール、作業進捗目標の設定、鉄筋材料の運搬要領、あいばん作業による場内運搬作業
0JT	実技	運搬作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、鉄筋材料の運搬要領、あいばん作業による場内運搬作業
0JT	実技	営業活動・顧客管理実習	マナー、営業話法、営業日報の作成、設計図書の理解、鉄筋組立工法の確認、顧客（元請、発注者）ニーズの理解、顧客等に対する対応
0JT	実技	営業実習	営業活動、顧客管理、見積作成
0JT	実技	組立作業実践	施工態度（マナー）、材料の運搬、鉄筋組立補助（主筋、配力筋、補強筋、組立筋等）に関わる作業補助、組立に関する継手や定着、かぶり厚、スベーサ位置、結束方法）、機械および工具の取扱い、作業効率を考えた材料・工具等の配置、現場の作業安全（現場のルール）
0JT	実技	作業管理実習	材料の運搬、分別保管、整理整頓
0JT	実技	作業段取り実習	施工態度（マナー）、安全衛生（材料・器具・工具・機械等の取扱い方法、安全装置や保護具の取扱い方法）、事前の情報収集（足場・仮置ヤードの大きさ・揚重機等）
0JT	実技	作業段取り実践	施工態度（マナー）、安全衛生（材料・器具・工具・機械等の取扱い方法、安全装置や保護具の取扱い方法）、事前の情報収集（足場・仮置ヤードの大きさ・揚重機等）、鉄筋作業の補助（配筋図の符号の理解、鉄筋の組立手順の理解）、鉄筋組立技能の習得（社内作業手順書、マニュアル等）
0JT	実技	自主管理作業	現場巡回、現場作業の確認、連絡・報告・相談の実践、鉄筋材料の検収・搬入・保管
0JT	実技	自主管理実習	現場巡回、健康診断受診、仕事の内容の理解、作業安全指示書の理解、現場作業の確認、連絡・報告・相談の実践、現場作業の進捗確認、鉄筋材料の検収・搬入・保管
0JT	実技	鉄筋加工作業	加工現場のマナー、作業進捗目標の設定、道具や材料の準備、器具・工具類の数量確認と準備
0JT	実技	鉄筋加工作業	加工現場のマナー、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋の切断作業や折り曲げ加工作業補助、絵符の読解
0JT	実技	鉄筋加工作業	加工現場のマナー、作業進捗目標の設定、道具や材料の準備、器具・工具類の数量確認と準備、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋の切断作業や折り曲げ加工作業補助、絵符の読解
0JT	実技	鉄筋加工作業	段取り作業、施工態度、鉄筋加工
0JT	実技	鉄筋加工作業実習	施工態度（マナー）、材料の運搬、加工補助（鉄筋の折り曲げ基準と加工方法、鉄筋加工、絵符の読解）、機械および工具の取扱い（鉄筋加工設備の使用法）、作業効率を考えた材料・工具等の配置
0JT	実技	鉄筋加工準備作業	鉄筋工事業界のルール、加工現場のルール、作業進捗目標の設定、道具や材料の準備、器具・工具類の数量確認と準備、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、絵符の読解
0JT	実技	鉄筋加工準備作業	加工現場のマナー、作業進捗目標の設定、道具や材料の準備、器具・工具類の数量確認と準備、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋の切断作業や折り曲げ加工作業補助、絵符の読解
0JT	実技	鉄筋組立作業	鉄筋工事業界のルール、現場のルール、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋組立手順の理解

鉄筋工事業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
0JT	実技	鉄筋組立作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋組立手順の理解
0JT	実技	鉄筋組立作業	組立段取り作業、施工態度、鉄筋組立
0JT	実技	鉄筋組立準備作業	鉄筋工事業界のルール、現場のルール、作業進捗目標の設定、道具や材料の準備、器具・工具類の数量確認と準備
0JT	実技	鉄筋組立準備作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、道具や材料の準備、器具・工具類の数量確認と準備
0JT	実技	鉄筋材料分別保管作業	加工現場のマナー、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋工事材料の分別保管作業補助、鉄筋材料の運搬
0JT	実技	鉄筋材料分別保管作業 (作業段取り)	現場のマナー、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋工事材料の分別保管作業補助、鉄筋材料の運搬
0JT	実技	鉄筋材料分別保管作業 (作業段取り)	鉄筋工事業界のルール、現場のルール、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋工事材料の分別保管作業補助、鉄筋材料の運搬
0JT	実技	鉄筋材料分別保管作業 (作業段取り)	現場のマナー、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋工事材料の分別保管作業補助、鉄筋材料の運搬
0JT	実技	鉄筋施工計画書類作成実習	仮設計画の把握、作業方法の理解、パソコンの活用、正確な情報伝達、必要書類の手配・作成
0JT	実技	鉄筋切断・折り曲げ加工実習	鉄筋工事業界のルール、加工現場のルール、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋の切断作業や折り曲げ加工作業および補助作業
0JT	実技	鉄筋切断・折り曲げ加工実習	加工現場のマナー、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬、鉄筋の切断作業や折り曲げ加工作業および補助作業
0JT	実技	荷受作業	鉄筋工事業界のルール、現場のルール、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬要領、あいばん作業
0JT	実技	荷受作業	現場のマナー、作業進捗目標の設定、機械および工具の取扱い、器具・工具類の片付け・整理整頓および保管、鉄筋材料の運搬要領、あいばん作業
0JT	実技	見積作成実習	現場踏査への参加、条件の明確化作業、打合せ内容の聞き取り、設計図面や躯体構造図の読解、数量の拾い出し要領、定型的数量の拾い出し作業と書類作成
0JT	実技	鉄筋施工計画作成作業	鉄筋施工計画書類作成、打ち合わせ
Off-JT	学科	安全衛生	5 S (整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全作業、健康管理、救急処理
Off-JT	学科	安全衛生	5 S (整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)、安全装置や保護具の用途と安全作業、健康管理
Off-JT	学科	営業活動・顧客管理概論 (基本的知識)	営業活動の流れ、営業話法、営業日報の作成知識、上司の指示や指導の理解、設計図書の種類理解、鉄筋組立工法の知識、顧客 (元請、発注者) のニーズ把握方法の要点、顧客等に対する対応方法、要点整理のポイント、見積作成作業の基礎知識 (数量の拾い出し)
Off-JT	学科	営業活動の基本知識	日報等報告書類、営業ツール (名刺等)、見積の作成要領
Off-JT	学科	組立作業	現場の安全作業知識 (作業標準、職長の指示内容、あいばん作業)、鉄筋組立方法の知識 (主筋、配力筋、補強筋、組立筋等の種類と構造的な意味、組立に関する継手や定着、かぶり厚、スパーサ位置、結束方法)、鉄筋組立工法 (在来工法、プレファブ工法、先組み工法等)
Off-JT	学科	組立段取り作業	現場の安全知識 (現場の基本ルール、顧客 (元請、発注者) の規則)、鉄筋作業の進め方 (配筋図の符号の理解、作業の用語や道具・器具の名称と使い方、作業手順書による鉄筋の組立手順)、鉄筋組立技能の習得 (社内作業手順書、マニュアル等)
Off-JT	学科	作業管理の知識	安全衛生 (労働安全衛生法、KY活動)、作業管理 (1日の作業工程、職長からの指示内容、JIS G 3112、器工具・機械等の取扱い方法、廃材分別)

鉄筋工事業の教科名等の例

訓練形態		教科名等の例	教科の内容例
Off-JT	学科	作業段取り概論（加工基礎知識）	鉄筋加工作業にかかわる用語、材料・器具・工具・機械等の名称と用途、鉄筋加工作業の工程、鉄筋加工作業手順
Off-JT	学科	作業段取り概論（組立基礎知識）	鉄筋組立作業にかかわる用語、材料・器具・工具・機械等の名称と用途、荷受作業の手順、場内運搬作業の手順、配筋図の見方
Off-JT	学科	自主管理	安全作業点検、作業安全指示書、現場作業の確認方法、連絡・報告・相談の重要性、品質管理基準、現場作業の進捗確認の要点
Off-JT	学科	自主管理の基本知識	設計図書、仕様書、工程表、作業標準、作業安全指示書、品質管理基準、鉄筋材の検収の流れ
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、グループディスカッション、キャリア形成、キャリアコンサルティング（自己理解、自己評価）、ビジネスマナー、職場理解（仕事理解）
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナー、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション（報告・連絡・相談の基本）、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナーとエチケット、職場理解（仕事理解）、倫理規定、就業規則、経営理念
Off-JT	学科	職業能力基礎講習	コミュニケーション、仕事概要と職場の概要、社会人としてのマナー、倫理規定、就業規則、経営理念
Off-JT	学科	施工概論	現場規則の遵守、新規入場者教育および送出し教育の遵守、企業の諸規定の遵守、挨拶の励行、報告・相談・連絡の重要性
Off-JT	学科	施工概論	作業所規則、新規入場者教育および送出し教育、企業のルール、挨拶の励行、報告・相談・連絡の重要性
Off-JT	学科	施工態度	基本ルール（顧客（元請、発注者）の作業所規則、新規入場者教育の遵守）、企業の諸規定（就業規則、労働基準法概要）、マナー（挨拶の励行、報告・相談・連絡の基本、チームワーク）
Off-JT	学科	段取りの知識	安全衛生（材料・器具・工具・機械等の名称および持込手続きの要領、安全装置や保護具の性能、片付け・整理整頓・清潔保持）、作業段取りの知識（鉄筋作業手順、事前の情報収集（足場・仮置ヤードの大きさ・揚重機等）、工程表や作業手順所の理解、作業準備（スペーサ・結束線等の数量確認）、近隣協定等の徹底事項確認）
Off-JT	学科	鉄筋加工作業概論	作業段取りの工夫と作業効率の重要性、法令および諸規定の概要
Off-JT	学科	鉄筋加工作業概論	作業段取りの工夫と作業効率の重要性、鉄筋工事業界のルール
Off-JT	学科	鉄筋加工作業の基本知識	用語、材料・器具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、作業区域、切断作業・曲げ加工作業の要領、加工帳、絵符の理解
Off-JT	学科	鉄筋加工作業の知識	法令および諸規定の知識（建築工事標準仕様書）、加工方法（鉄筋の折り曲げ基準と加工方法、鉄筋加工、絵符の読解）、機械および工具の取扱い（鉄筋加工設備の種類・用途および使用方法）、揚重機設備の安全基準と操作方法）
Off-JT	学科	鉄筋組立作業の基本知識	用語、材料・器具の名称と用途、危険箇所、作業の流れ、工程表、作業区域、あいばん作業のルール、場内運搬作業の手順、鉄筋組立作業の手順
Off-JT	学科	鉄筋施工計画	仮設計書の把握方法、作業方法、必要書類の手配・作成
Off-JT	学科	鉄筋施工計画の基本知識	鉄筋加工および鉄筋組立の作業方法、安全書類及び必要書類
Off-JT	学科	能力評価	オリエンテーション、能力評価（評価担当者、受講者）
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、KY活動、健康管理（健康診断の受診）、救急処理、安全防具の正しい着用方法
Off-JT	実技	安全衛生作業	安全作業、衛生管理実務、救急法、健康管理、安全防具の正しい着用方法
Off-JT	実技	営業活動・顧客管理実習（フォローアップ問題解決編）	営業日報の作成要領、設計図書の種類の理解、鉄筋組立工法の確認、顧客（元請、発注者）のニーズ把握についての意見交換、顧客等に対する対応事例

鉄筋工事業の教科名等の例

訓練形態		教科名の例	教科の内容例
Off-JT	実技	営業基本実習	営業日報の記入方法、顧客対応の方法（ビジネスマナー）、必要書類の手配と作成方法
Off-JT	実技	組立作業	鉄筋組立方法（主筋、配力筋、補強筋、組立筋等の種類、組立に関する継手や定着、かぶり厚、スぺーサ位置、結束方法）、鉄筋組立工法概要（在来工法、プレファブ工法、先組み工法等）
Off-JT	実技	作業段取り演習	安全衛生（材料・器具・工具・機械等の取扱い方法、安全装置や保護具の取扱い方法）、事前の情報収集演習（足場・仮置ヤードの大きさ・楊重機等）
Off-JT	実技	作業段取り演習	鉄筋作業の進め方（配筋図の符号の理解、作業手順書による鉄筋の組立手順の理解）、鉄筋組立技能の習得（社内作業手順書、マニュアル等）
Off-JT	実技	自主管理実習	安全作業点検方法、現場作業の確認要領、現場作業の進捗確認要領
Off-JT	実技	自主管理実習（フォローアップ問題解決編）	安全作業点検方法の確認、作業安全指示書の理解、現場作業の確認方法、品質管理基準、現場作業の進捗確認要点、顧客検査結果の要点
Off-JT	実技	鉄筋加工基本作業	切断作業・曲げ加工作業の方法、整理整頓
Off-JT	実技	鉄筋加工基本作業（準備編）	作業進捗目標の要点、道具や材料の準備要点、器具・工具類の数量確認と準備の要点
Off-JT	実技	鉄筋加工基本作業（準備編）	作業進捗目標の設定要領、道具や材料の準備要領、器具・工具類の数量確認と準備の要領
Off-JT	実技	鉄筋加工作業	加工方法（鉄筋の折り曲げ基準と加工方法、鉄筋加工、絵符の読解）、機械および工具の取扱い（鉄筋加工設備の使用方法）、作業効率を考えた材料・工具等の配置
Off-JT	実技	鉄筋加工作業（フォローアップ問題解決編）	作業内容の理解と確認等の要領、職長・先輩等からの指示内容理解等の要領、鉄筋の切断作業や折り曲げ加工作業の要領、絵符の読解の要領、器工具・機械等の取扱い方法
Off-JT	実技	鉄筋組立基本実習	鉄筋組立作業の方法、整理整頓
Off-JT	実技	鉄筋組立作業（準備編）	作業進捗目標の設定要領の確認、道具や材料の準備要領の確認、器具・工具類の数量確認と準備の要点
Off-JT	実技	鉄筋組立作業（準備編）	作業進捗目標の設定要領の確認、道具や材料の準備要領の確認、器具・工具類の数量確認と準備の要領の確認
Off-JT	実技	鉄筋組立作業（フォローアップ問題解決編）	作業内容の理解と確認等の要点確認、職長・先輩等からの指示内容等の要点確認、あいばん作業の要点、器工具・機械等の取扱い方法、配筋図の見方の要点、荷受作業の要点、場内運搬作業の手順の要点
Off-JT	実技	鉄筋組立作業（フォローアップ問題解決編）	作業内容の理解と確認等の要領、職長・先輩等からの指示内容理解等の要領、あいばん作業の要領、器工具・機械等の取扱い方法、配筋図の見方の要領、荷受作業の要領、場内運搬作業の手順の要領
Off-JT	実技	鉄筋施工計画実習（フォローアップ問題解決編）	仮設計画把握の要点、正確な情報伝達の要点、必要書類の手配と作成
Off-JT	実技	作業管理基本実習	鉄筋材料の識別と分別保管の方法、運搬、整理整頓